

月刊びゃっきープレス

2009

無料配布

ライブ予定

11 月号

↑あたりまえ

毎月初回ライブ日発行

2009 年 11 月 29 日(日)

東高円寺 KAZTOU

発行 (謝)びゃっきーライブ連盟
http://www.satram.jp/byacky/
byacky@satram.jp

問合せ : byacky@satram.jp

配布 びゃっきーご本人かライブハウスの人

byacky press

祝 四 周 年

ネクストサンデーと私



5 年目のスタート

ネクストサンデー4周年おめでとうござい
ます。四周年を記念し
て、「ネクストサンデー
と私」という題で特別
寄稿をさせて頂いたこ
うかと思えます。

そもそもこのライブ
ハウスの存在を知った
のは3年半くらい前、
ネクストサンデーでは
お馴染みの川北愛子ち
やんと別のライブハウ
スで共演したときのこ
とでした。フライヤー
にこのライブハウスで
ライブをやると書いて
あって、「へえ、阿佐ヶ
谷にライブハウスなん
てあるんだ」「うん、最
近できたんだよ」とい
うような話をしたの
が、きっかけでした。

早速、メールでネク
ストサンデーにコンタ
クトを取りました。そ
の当時、私は弾き語り
を始めて、1年半とい
う時期でした。それま
でバンドはやっていた
ことがありませんが、
演奏から歌から、ライ
ブの準備まで、全部一
人でやるというのは大
変なことと、それを1
年半も続けていたの
で、自分の中ではかな
りがんばったつもりで
いました。ちよっとペ
テランか何かのつもり
でいたかも知れませ
ん。なので、「弾き語り
歴1年半」と自慢気に
書きました。そしてネ
クストサンデーから帰
ってきたメールが、
「弾き語り歴1年半と
いうことで、まだ始め
て間もない時期にこの
ライブハウスを選んで
くださったありがとうございます」と

「ごさいます」とい
うものでした。い
やあ、なかなか心地よ
いスマッシュヒットを
脳天に食らわせて、目
を覚ましてくれただ
き、まことに感謝して
います。

そのあと、自分のラ
イブの前に一度、愛子
ちゃんのライブを見
に、このライブハウス
に来てみました。可愛
らしいグランドピアノ
と柔らかな雰囲気のお
店、女性らしい何かラ
イブハウスというより
は、お部屋というよう
な雰囲気だな、と思い
ました。

そして、ネクストサ
ンデーの初ライブの日。
その頃は、まだブ
ツキングが土日くらい
しか埋まっていなくて
でした。平日はたまに
金曜日にライブがあ
るくらいで、もしかす
ると土日にライブがあ
ないような日もあつ
たかも知れませんが、
そのような状況だった
ので、現在は一日の出
演者は4組ですが、その
頃は3組でした。その
日は、3組中一人の出
演者が、リハの後に倒
れて救急車で運ばれる
というハプニングがあ
りました。出演者が二
組になってしまったの
で、少しライブを長め
にやろうと思つて、急
遽練習中の新曲「胸を
張って」をやったので
すが、かなりボロボロ
です。そのときにびゃ
っきーのライブ心得に
「新曲はきちんと弾け
るようにするまで絶対
にやらないこと」と「何

かあった場合に対応で
きるように、セットリ
ストよりも一曲多めに
練習しておくこと」と
いうのが、追加されま
した。ちなみに倒れた
方はライブ後にやつて
きて、緊張のあまり倒
れてしまったというこ
とでした。後にも先に
もここまで緊張した方
は一緒になかったこと
がありません。さらに
なみにその方のフライ
ヤーを見たところ、そ
の後4週間連続でライ
ブが入っていたので、
他人事ながら、かなり
不安になりました。

そんな幸先の悪いス
タートを切りました
が、その後一度として
途切れることなく、毎
月声をかけていただい
て、ライブをさせてい
ただいています。続け
るうちに、いろんな友
だちや仲間もできまし
た。みんなここに集ま
って思い思いに動き回
り、しゃべりまくる、
まるで放課後の教室の
ような感覚です。年末
ライブに声をかけてい
ただいたこともありま
した。店長さんの誕生
日にライブをさせてい
ただいたこともありま
した。今年に入つてす
ぐに人生初めての企画
ライブをさせて頂いた
いたのもこのライブハ
ウスです。今のびゃ
っきーがあるのはこのラ
イブハウスのおかげで
す。本当にありがとうございます。4周年お
めでとうございませ
ん。これからもよろしくお
願いします。

(びゃっきー)